

薬生食輸発0721第2号  
令和3年7月21日

各検疫所長 殿

医薬・生活衛生局食品監視安全課  
輸入食品安全対策室長  
(公印省略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について  
(イタリア産及びフランス産食品のアフラトキシン)

標記については、令和3年3月30日付け薬生食輸発0330第1号(最終改正：令和3年7月12日付け薬生食輸発0712第1号)により通知したところである。

今般、輸入時の検査命令において、CAMPO D'ORO DI LICATA PAOLO & C.SAS及びOLIVIERS & CO.の製造した赤とうがらし及びピスタチオナッツを含む食品からアフラトキシンが検出されたことから、同通知の別添1を下記のとおり改正し、別添2の1を別紙1、別途指示する製造業者を別紙2のとおりとするので、御了知の上、関係事業者等への周知方よろしく願います。

記

1. 別添1のイタリアの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
赤とうがらし又はピスタチオナッツを含む食品	別途指示する製造者で製造されたものに限る。	総アフラトキシン(アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和)	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 µg/kgを超えて含有しているおそれがあるため。

を追加し、

2. 別添1のフランスの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
赤とうがらし又はピスタチオナッツを含む食品	別途指示する製造者で製造されたものに限る。	総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 μg/kgを超えて含有しているおそれがあるため。

を追加する。